

いろいろな鼻炎

いろいろな鼻炎の解説です

急性鼻炎	風邪の1症状、鼻のかゆみ、くしゃみ、漿液性、粘性の鼻汁、鼻閉が出現します
慢性鼻炎	数ヶ月以上鼻炎症状が続きます ほとんどは急性鼻炎の反復、遷延化によって生じます アレルギー性鼻炎、血管運動性鼻炎、薬剤性鼻炎などが否定的なら慢性鼻炎と考えられます 非特異的過敏反応（タバコの煙など）冷気、妊娠、大気汚染、乾燥、化学製品
血管運動性鼻炎	多くは温度の変化があるときにくしゃみ、水様性鼻汁が出ます 鼻づまりはあまりないです 老人性鼻漏は、ほぼ同疾患（老人が起床後、食事のときに水様性鼻汁出現します）
薬剤性鼻炎	薬物によって鼻づまりになる状態で、鼻汁、くしゃみは伴いません 降圧薬、精神安定剤、経口避妊薬、市販点鼻薬の使いすぎなど
萎縮性鼻炎	高齢者では、鼻腔は広いにも関わらず、鼻づまりや鼻内乾燥を生じ、痂皮（鼻くそ）ができやすくなります
肥厚性鼻炎	寒冷、乾燥、大気汚染、化学的刺激、アルコール、鼻中隔彎曲などが原因で鼻づまりを起こします



急性鼻炎の経過について



風邪の1症状として始まります

発症1~2日後に鼻のかゆみ、くしゃみ、
サラサラ~粘っこい鼻汁や鼻づまり

鼻汁が膿のようになってきます

副鼻腔炎を併発すれば、この状態は数週間
続きます

